

2024年度

エコアクション21

環境活動レポート

(2024年1月1日～2024年12月31日)

2025年2月8日 発行



株式会社 キタジマ

1. 対象範囲

- ・対象事業所： 本社、鶴見営業所、戸塚営業所、駒岡営業所(駒岡マテリアルセンター、新駒岡リサイクルセンター)
- ・対象事業活動：産業廃棄物の収集運搬・中間処理、一般廃棄物の収集運搬
- ・レポート対象期間：2024年1月1日～12月31日

2. 組織の概要

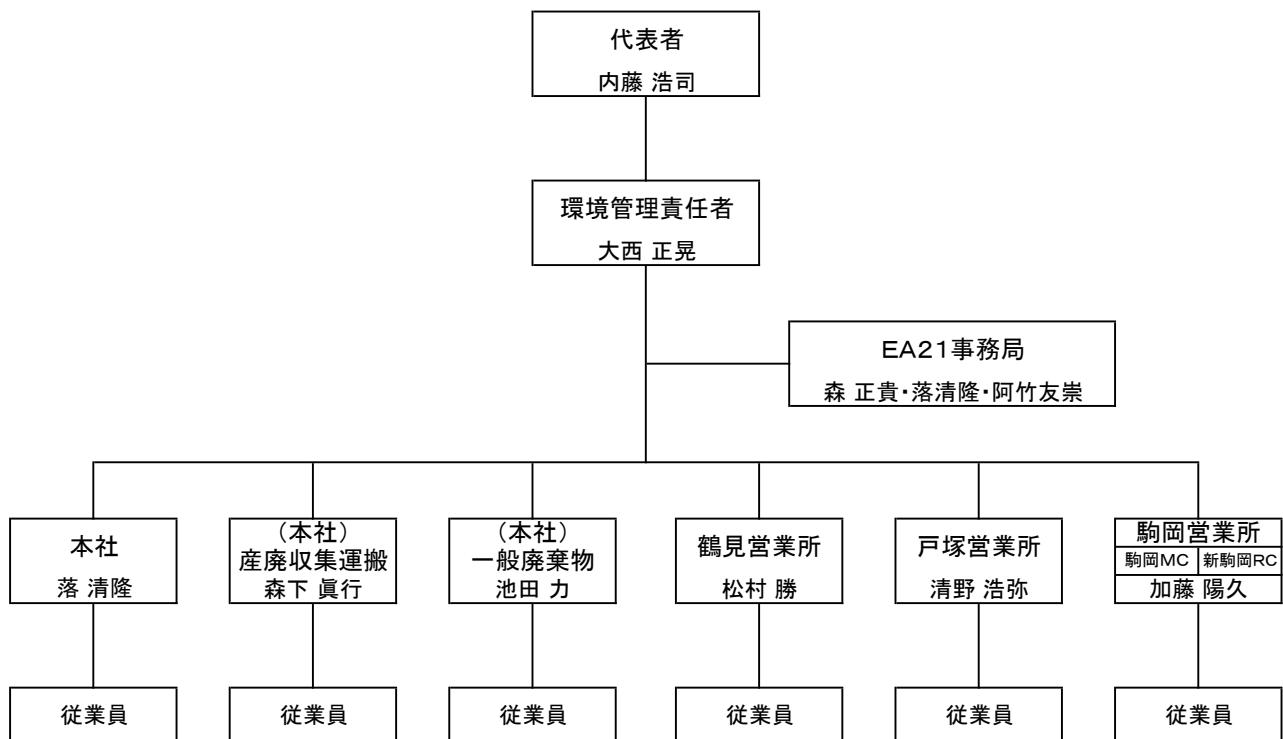
- ・事業所名及び代表者 **株式会社 キタジマ**
代表取締役 内藤 浩司
- ・事業所所在地
- | | |
|-------|--|
| 本社 | 神奈川県川崎市川崎区中瀬2-3-1 |
| 鶴見営業所 | 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾7-8-36 |
| 戸塚営業所 | 神奈川県横浜市戸塚区汲沢町201-1 |
| 駒岡営業所 | 駒岡マテリアルセンター 神奈川県横浜市鶴見区駒岡2-7-12
新駒岡リサイクルセンター 神奈川県横浜市鶴見区駒岡2-13-24 |
- ・環境管理責任者氏名
及び担当者連絡先
- | | | |
|---|--------------|------------------|
| 環境管理責任者 | 取締役総務部長 | 大西 正晃 |
| 担当者 | 取締役営業部長 | 森 正貴 |
| 連絡先 | 044-211-0070 | FAX 044-245-1439 |
| https://www.kitajima.cc/ | | |
- ・事業活動の内容
- 産業廃棄物収集運搬・中間処理、事業系一般廃棄物収集運搬

・事業の規模	設立年月日	昭和42年3月27日		
	資本金	1 億円		
	本社	鶴見営業所	戸塚営業所	駒岡営業所
売上高		1,527百万円 (2024年度)		駒岡マテリアルセンター 新駒岡リサイクルセンター
従業員数(人)	18	16	29	4 4
敷地面積(m ²)	154.5	2967	★2048 + 883	859 1115

★戸塚営業所の敷地面積は、積替保管場と事務所を表示しています。

- ・廃棄物の収集運搬量 : 14,431.62t (産業廃棄物 10234.3t、一般廃棄物 4197.32t)
- ・廃棄物の処分量 : 13,807.4t

＜株式会社 キタジマ・実施体制及び権限表＞



役割・責任・権限	
代表者	1. 環境管理責任者の任命及び実施体制の構築 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 代表者への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する

＜廃棄物許可の内容及び処理施設の概要＞

○産業廃棄物 中間処分業許可（鶴見営業所・駒岡マテリアルセンター・新駒岡リサイクルセンター）

許可都道府県 (政令市) 許可番号	許可品目(事業の範囲)																	許可年月日	許可 有効年月日	
	1 燃 え 殻	2 汚 泥	3 廢 油	4 廢 酸	5 廢 アル カリ	6 廢 塑 料 チ ック 類	7 紙	8 木 く ず	9 纖 維	10 動 植物	11 性 残 渣	12 ゴ ム	13 金 屬	14 ガ ラ ス 及 び 陶 磁 器	15 鉱 さ い	16 が れ き 類	17 動 物 の 糞 尿	18 動 物 の 死 体	ば い じ ん	
横浜市 第05620018385号					○	○	○	○			○	○	○					平成11年7月1日	令和元年5月1日 令和8年4月30日	優良認定

○中間処理施設の概要

事業場名	種類	方法	能力	保管量
鶴見営業所	中間処理場	破砕 圧縮	11.04t/日 2.16t/日	764.33m ³
	積替保管場	—	—	153.59m ³
戸塚営業所	積替保管場	—	—	798.10m ³
	第二積替保管場	—	—	139.20m ³
駒岡マテリアルセンター	中間処理場	破砕	7.859t/日	
		破砕② 圧縮	46.6t/日 360.45t/日	211.45m ³
新駒岡リサイクルセンター 「2020年1月から実施」	中間処理場	破砕 圧縮	13.14t/日 629.4t/日	159.51m ³

○廃棄物 再生事業者登録証明書

事業場名	登録都道府県	登録年月日	登録番号	再生に係る事業の内容
鶴見営業所	神奈川県	平成12年3月31日	第G00123号	廃プラスチック、木くず、建設廃材の再生
駒岡マテリアルセンター	神奈川県	平成19年3月14日	第G00249号	廃プラスチック、建設廃材の再生
新駒岡リサイクルセンター 「2020年1月から実施」	神奈川県	令和2年5月20日	第G00313号	廃プラスチック類の再生

○特別管理産業管理廃棄物 収集運搬業許可

許可都道府県 許可番号	許可品目(事業の範囲)	許可年月日	許可 有効年月日
神奈川県 01450018385	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃低濃度PCB(廃油・汚染物・処理物)、廃石綿等、金属等を含む特定有害産業廃棄物[汚泥(水銀)]	平成27年5月15日	令和2年7月22日 令和7年5月14日
東京都 第13-50-018385号	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃低濃度PCB(廃油・汚染物・処理物)、廃石綿等、金属等を含む特定有害産業廃棄物[汚泥(水銀)]	平成27年8月14日	令和2年8月14日 令和7年8月13日
千葉県 第01250018385号	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃低濃度PCB(廃油・汚染物・処理物)、廃石綿等、金属等を含む特定有害産業廃棄物[汚泥(水銀)]	平成27年7月13日	令和2年8月14日 令和7年7月12日
静岡県 第02251018385号	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃低濃度PCB(廃油・汚染物・処理物)、廃石綿等	令和6年9月19日	令和6年9月19日 令和11年9月18日

○産業廃棄物 収集運搬業許可（横浜市のみ積替・保管あり）

許可都道府県 (政令市) 許可番号	許可品目（事業の範囲）																		初回許可年月日	許可 有効年月日
	1 燃 え 殻	2 汚 泥	3 廢 油	4 廢 酸	5 廃 アル カリ	6 廃 塑 料 チ ック 類	7 紙 く ず	8 木 く ず	9 繊 維 く ず	10 動 植物 性 残 渣	11 ゴ ム く ず	12 金 屬 く ず	13 ガ ラ ス 及 び 陶 磁 器 く ず	14 鉱 さ い	15 が れ き 類	16 動 物 の 糞 尿	17 動 物 の 死 体	18 ば い じ ん		
横浜市 第05610018385号	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	●	○	平成2年1月1日	令和元年7月1日 令和8年6月30日
神奈川県 01403018385	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成6年5月24日	令和元年8月23日 令和8年5月23日
東京都 第13-00-018385号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成6年5月27日	令和元年5月27日 令和8年5月26日
埼玉県 01101018385	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	昭和62年8月15日	令和2年8月31日 令和9年7月30日
山梨県 01900018385		○			○	○	○	○			○	○		○		○			平成6年11月4日	令和元年11月4日 令和8年11月3日
千葉県 第01200018385号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成1年12月20日	令和6年12月26日 令和13年12月19日
静岡県 第02201018385号		○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	平成10年7月29日	令和5年8月21日 令和12年8月20日
栃木県 00900018385	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成10年11月19日	令和5年11月19日 令和12年11月18日
群馬県 01000018385	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成11年4月30日	平成31年4月30日 令和8年4月29日
茨城県 00801018385	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成11年6月14日	令和元年8月19日 令和8年6月13日
宮城県 00400018385	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年9月30日	令和6年9月30日 令和11年9月29日

※横浜市の●は積替保管（水銀使用製品産業廃棄物、石綿含有産業廃棄物を含む）の品目。

※上記すべての市都県 は水銀使用製品産業廃棄物を含む。

水銀使用製品産業廃棄物 = 廃プラスチック類、金属くず、ガラス及び陶磁器くず

※上記すべての市都県、石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類、ガラス及び陶磁器くず、がれき類）を含む。

○一般廃棄物 収集運搬業許可（積替え・保管を除く）

許可自治体	許可番号	許可年月日	許可有効年月日
横 浜 市	第1078号	平成9年4月1日	令和6年4月1日 令和8年3月31日
川 崎 市	第0071号	平成14年10月1日	令和6年10月1日 令和8年9月30日

○運搬許可車両一覧

産業廃棄物 運搬車両	アームロール式 コンテナ車	10トン車	4 台	NOX・PM適合車
	アームロール式 コンテナ車	4トン車	7 台	NOX・PM適合車
	アームロール式 コンテナ車	2トン車	2 台	NOX・PM適合車
	平ボディー車	4トン車	1 台	NOX・PM適合車
	ユニック付 平ボディー車	4トン車	1 台	NOX・PM適合車
	ユニック付 ゲート車	3トン車	1 台	NOX・PM適合車
	平BOX車	3トン車	1 台	NOX・PM適合車
	塵芥車	3トン車	2 台	NOX・PM適合車
	バン	1トン車	2 台	NOX・PM適合車
	バン	0.35トン車	1 台	NOX・PM適合車
一般廃棄物 運搬車両	塵芥車	3トン車	7 台	NOX・PM適合車

鶴見営業所(中間処理場)



駒岡マテリアルセンター

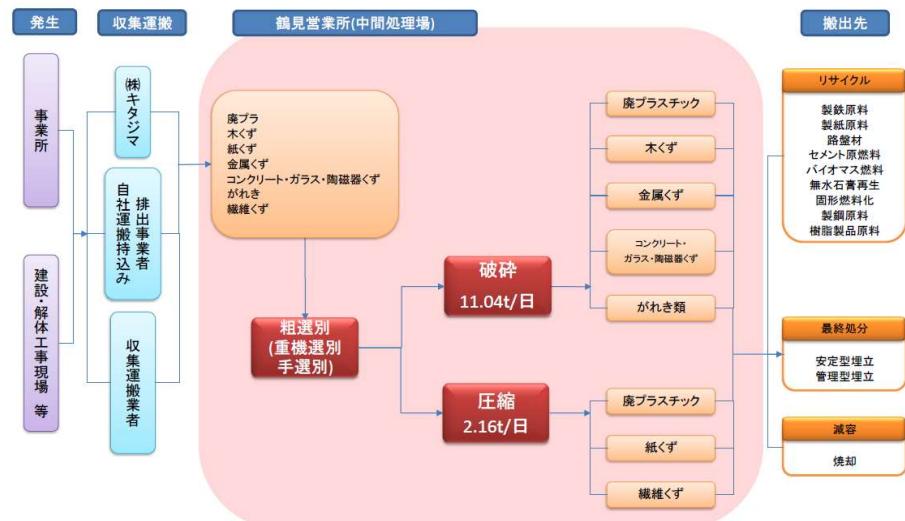


新駒岡リサイクルセンター



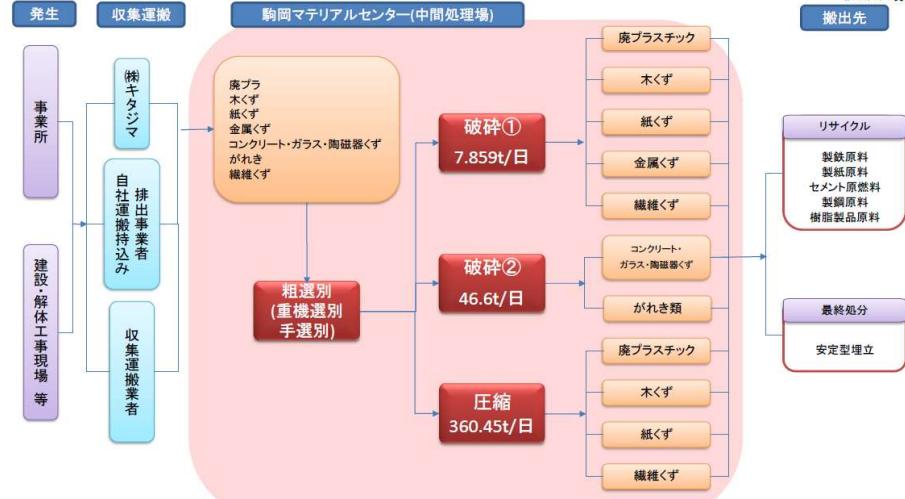
株式会社 キタジマ 鶴見中間処理場 産業廃棄物の処理工程図

2019/8/1現在



株式会社 キタジマ 駒岡マテリアルセンター 産業廃棄物の処理工程図

2018/7/1現在



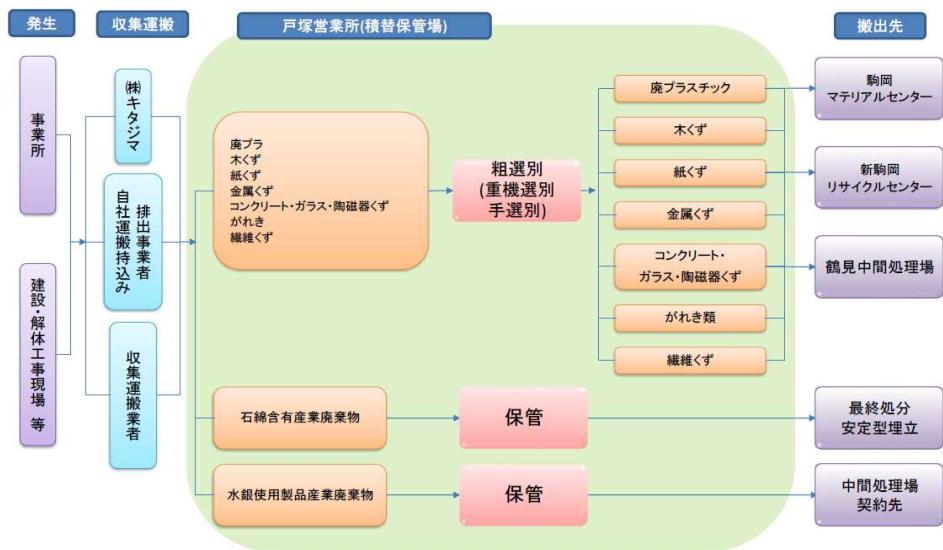
株式会社 キタジマ 新駒岡リサイクルセンター 産業廃棄物の処理工程図

2023/6/26現在



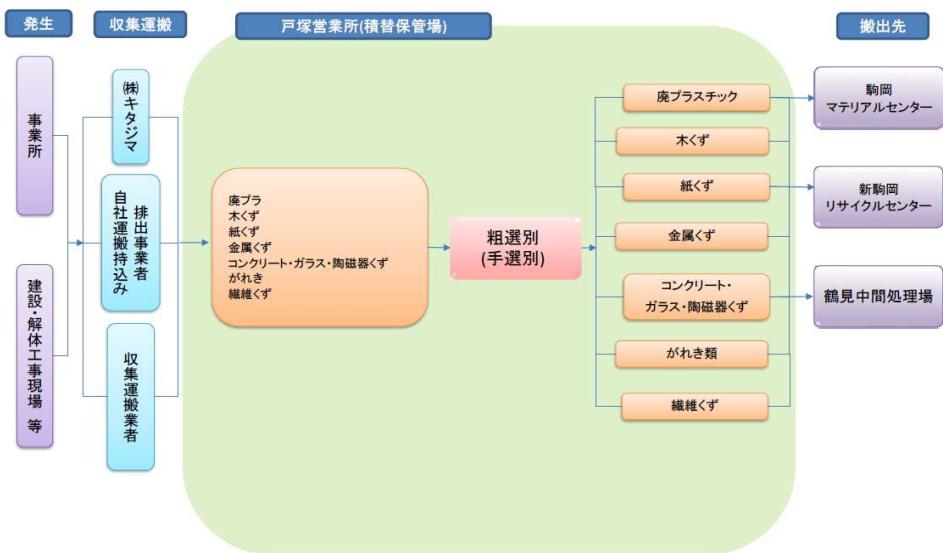
株式会社キタジマ 戸塚積替保管場 産業廃棄物の処理工程図

2019/8/1現在



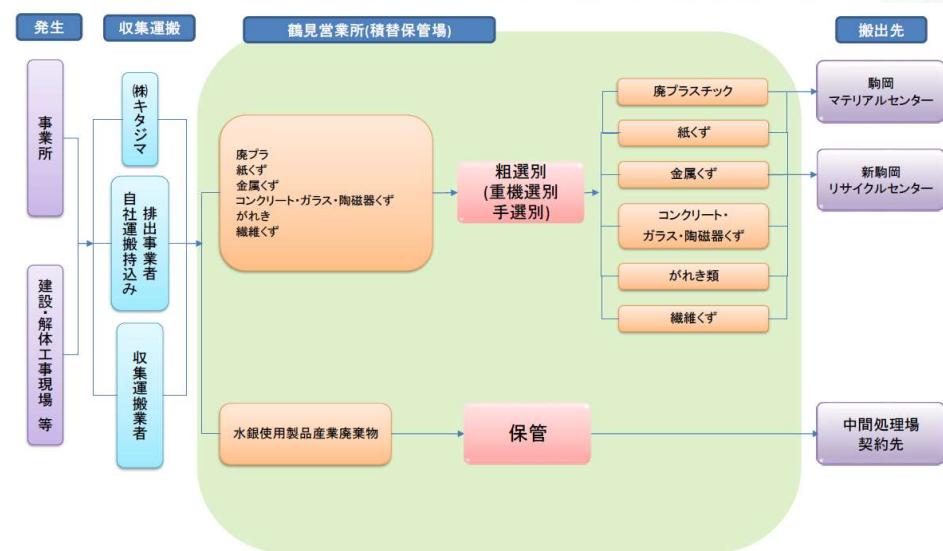
株式会社キタジマ 戸塚第二積替保管場 産業廃棄物の処理工程図

2019/8/1現在



株式会社キタジマ 鶴見積替保管場 産業廃棄物の処理工程図

2024/2/1現在



<処理実績>

○受託した産業廃棄物の処理量

<2024. 1~12>

(単位:t)

		廃棄物等の種類	処分方法等	2024年
収集運搬		混合廃棄物		10,207.0
		水銀使用製品		10.3
		特管PCB		0.6
		特管廃酸		16.4
		収集運搬 合計		10,234.3
中間処理		混合・廃プラスチック類	破碎・圧縮	11978.4
		木くず	破碎	1829.0
		廃プラスチック	再生利用	182.1
		紙くず	再生利用	273.5
		金属	再生利用	1940.0
内 再資源化等		ガラス・陶磁器くず	再生利用	24.0
		小計		2419.6
		中間処理 合計		13807.4
中間処理後の産業廃棄物	内、最終処分	廃プラ・がれき等	安定型埋立て	3267.4
		混合・木くず等	管理型埋立て	874.2
		最終処分 合計		4141.6
中間処理後の産業廃棄物	内、再資源化等	混合・廃プラスチック類	セメント原料他	5491.3
		木くず	製紙原料他	1754.9
		再生資源 合計		7246.2
中間処理後 合計				11387.8

○受託した一般廃棄物の運搬量

収集運搬	一般廃棄物	横浜市・川崎市	4,197.32
------	-------	---------	----------

3. 環境方針

（株）キタジマ環境方針

基本理念

株式会社キタジマは創業以来世界共通のテーマである環境保全に深く携わる事業者である事に社員一人一人が誇りを持ち、循環型社会の構築に努力し限りある資源、残された自然、それらかけがいのない財産をさらにより良いものとして、『For Tomorrow』明日（未来の子供たち）へ受け継ぐべく、日々創造し取り組んでまいります。

行動方針

1. 産業廃棄物処理のエキスパートとして、環境負荷の低減を目的とし以下の項目を実行します。
 - (1) 二酸化炭素総排出量の削減
 - ・電力使用量の削減
 - ・石油エネルギー資源の削減
 - (2) 水道使用量の削減
 - (3) 事務所内より排出する廃棄物（最終処分量）の削減
 - (4) 産業廃棄物再資源化率の向上
 - (5) グリーン購入の推進
2. 関連する法令の遵守（コンプライアンス）に努め、お客様や地域の皆様に信頼され貢献する会社であることをお約束します。
3. 当社の事業活動においては、環境経営の継続的改善を実施することにより広く社会の役割を担ってまいります。
4. 本方針を全従業員並びに当社のために働く全ての人に周知し、求めに応じ社外へも開示します。

制定日 2011年 6月 30日

改訂日 2021年 4月 1日

株式会社 キタジマ
代表取締役 内藤 浩司

4. 環境目標と環境目標の実績

前回中長期目標の最終年度(2021年)を基準とし

電力 kg-CO₂ = kWh × 0.430(2020年度～)

0.5%/年削減で目標を設定。

軽油 kg-CO₂ = リットル × 2.58、ガソリン = リットル × 2.32

環境目標項目		2021年 基準年度	2022年	2023年	2024年 本年度目標	2025年 中期目標
二酸化炭素排出量 削減 (電力・軽油・ガソリン)	目標値 (kg-CO ₂)	1,027,654	1,016,368	926,733	922,100	917,491
	実績値 (kg-CO ₂)	886,940	832,859	809,669	793,542	
電力使用量 削減 合計	目標値 (kWh)	288,168	※1,2 300,028	※3 290,060	288,611	287,170
	実績値 (kWh)	260,251	269,014	271,617	262,930	
本社	目標値 (kWh)	16,904	16,820	16,736	16,653	16,570
	実績値 (kWh)	15,793	16,402	15,878	13,945	
鶴見営業所	目標値 (kWh)	24,335	※1 30,213	※3 21,593	21,485	21,378
	実績値 (kWh)	21,181	22,004	20,904	21,808	
戸塚営業所	目標値 (kWh)	10,415	※2 17,663	17,575	17,487	17,400
	実績値 (kWh)	11,367	17,047	17,118	16,476	
新駒岡リサイクルセンター	目標値 (kWh)	131,015	130,360	129,708	129,060	128,415
	実績値 (kWh)	122,461	121,457	121,753	116,557	
駒岡マテリアルセンター	目標値 (kWh)	105,499	104,972	104,448	103,926	103,407
	実績値 (kWh)	89,449	92,104	95,964	94,144	
軽油使用量 削減 合計	目標値 (ℓ)	336,231	※1,2 329950	※3 296939	295,454	293,977
	実績値 (ℓ)	289,178	266,966	257,147	252,819	
鶴見営業所 現場内重機等	目標値 (ℓ)	76,181	※1 73,400	※3 50,589	50,336	50,084
	実績値 (ℓ)	53,357	47,820	44,747	41,677	
戸塚営業所 現場内重機等	目標値 (ℓ)	54,590	※2 52,117	※3 42,938	42,723	42,509
	実績値 (ℓ)	47,101	38,774	36,581	33,384	
新駒岡リサイクルセンター 現場内重機等	目標値 (ℓ)	6,700	6,667	6,634	6,601	6,568
	実績値 (ℓ)	6,102	5,913	6,043	6,286	
駒岡マテリアルセンター 現場内重機等	目標値 (ℓ)	5,409	5,382	5,355	5,328	5,302
	実績値 (ℓ)	5,503	5,816	5,493	5,413	
産廃部門 収集・運搬車両	目標値 (ℓ)	134,317	133,645	132,977	132,312	131,651
	実績値 (ℓ)	128,607	120,081	115,739	118,679	
一廃部門 収集・運搬車両	目標値 (ℓ)	59,034	58,739	58,446	58,154	57,863
	実績値 (ℓ)	48,508	48,562	48,544	47,381	
ガソリン使用量 削減	目標値 (ℓ)	15,632	15,554	15,476	15,399	15,322
	実績値 (ℓ)	12,480	12,246	12,688	12,159	

環境目標項目		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
水道使用量 削減	目標値 (m ³)	1,614	1,606	1,598	1,590	1,582
	実績値 (m ³)	1,387	1,267	1,538	1,405	
事務所内廃棄物排出量 (最終処分量) 削減	目標値 (kg)	1,393	1,386	1,379	1,372	1,365
	実績値 (kg)	1,214	1,180	1,223	1,212	
電子マニフェスト化への推進	目標値 (取扱業者数)	130	前年より増	前年より増	前年より増	前年より増
	実績値 (取扱業者数)	158	172	200	234	
★ 受託産業廃棄物における環境配慮						
受入した産業廃棄物(m ³)、 リサイクル率 向上	目標値 (%)	73.3	前年以上	前年以上	前年以上	前年以上
	実績値 (%)	72.3	72.1	70.0	70.2	
収運車両 燃費向上						
産廃部門 運搬(10t)車両	目標値 (km/ℓ)	3.32	前3年の平均以上	前3年の平均以上	前3年の平均以上	前3年の平均以上
	実績値 (km/ℓ)	3.33	3.34	3.43	3.5	
産廃部門 運搬(2~4t)車両	目標値 (km/ℓ)	5.95	前3年の平均以上	前3年の平均以上	前3年の平均以上	前3年の平均以上
	実績値 (km/ℓ)	6.06	5.72	6.30	6.39	
一廃部門 収集・運搬車両	目標値 (km/ℓ)	5.88	前3年の平均以上	前3年の平均以上	前3年の平均以上	前3年の平均以上
	実績値 (km/ℓ)	5.71	5.52	5.72	5.19	
その他、環境保全活動 (グリーン購入)	目標値	実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	

* 化学物質については、当社にて使用はありません。

※1 2021年のフォークリフト入れ換えに伴う調整の為

※2 2022年のフォークリフト入れ換え、及び休憩所新設の為

※3 目標値と実績値が乖離していた為

5. 環境活動計画、環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標項目	環境活動計画	2024年 目標	2024年 実績	取組結果	評価・次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減 (電力・軽油・ガソリン)	・電力 = kWh × 0.430 ・軽油 = リットル × 2.58 ・ガソリン = リットル × 2.32	922,100 Kg-CO2	793,542 Kg-CO2	○	本業の業績回復と比例させながらの削減を目指しているが、本業の回復には至っていない。(取組の継続)
電力使用量の削減					
本社	・エアコン(夏28°C・冬22°C)	16,653 Kwh	13,945 Kwh	○	ここ数年、猛暑による職員へのケアが課題となっている中、作業時のスポットクーラーの稼働増により電力の数値が上振れしているのはやむを得ないと考え、環境活動計画は継続。
鶴見営業所	・エアコンフィルター定期清掃	21,485 Kwh	21,808 Kwh	△	
戸塚営業所	・こまめなスイッチオフ	17,487 Kwh	16,476 Kwh	○	
新駒岡リサイクルセンター	・掲示にて節電喚起	129,060 Kwh	116,557 Kwh	○	
駒岡マテリアルセンター		103,926 Kwh	94,144 Kwh	○	
軽油使用量の削減					
鶴見営業所 現場内重機等	・重機等の最大トルクの制限	50,336 リットル	41,677 リットル	○	今期、特に大きな活動として一般収集運搬部門において不採算と思われる顧客について大幅な見直しを行った結果、顧客数が減った。(軽油の使用量も減少)売上増と、左記、環境活動の継続。
戸塚営業所 現場内重機等	・エコドライブの実践(エコサム使用)	42,723 リットル	33,384 リットル	○	
新駒岡リサイクルセンター 現場内重機等	・定期的な車両整備	6,601 リットル	6,286 リットル	○	
駒岡マテリアルセンター 現場内重機等	・統一日常点検簿作成実施	5,328 リットル	5,413 リットル	△	
産廃部門 収集・運搬車両	・統一月次点検簿作成実施	132,312 リットル	118,679 リットル	○	
一廃部門 収集・運搬車両		58,154 リットル	47,381 リットル	○	
ガソリン使用量の削減		15,399 リットル	12,159 リットル	○	
水道使用量の削減	・現場内 高圧噴霧器を使用 ・洗車時の節水 ・掲示にて節水喚起	1,590 m3	1,405 m3	○	弊社の水使用量の大半が廃棄物への湿润と飛散防止対策であるが、数値は下回っている。(両立の継続)
事務所内廃棄物排出量 (最終処分量)の削減	・分別の徹底、分別BOX再チェック ・社内掲示による注意喚起	1,372 Kg	1,212 Kg	○	分別BOXを活用した廃棄物削減の継続。
電子マニフェスト化への 推進	・電子マニフェスト取引業者の管理表作成 ・営業活動にて推進案内	取扱業者数 前年以上 200業者	234業者	○	電子契約クラウドサインから電子マニフェストASPへの一連業務が確立・浸透してきた。更なる増加を目指し突破口一チを進める。

環境目標項目	環境活動計画	2024年 目標	2024年 実績	取組結果	評価・次年度の取組内容
★受託産業廃棄物における環境配慮					
受託した産業廃棄物(t) リサイクル率の向上	・選別精度の向上、及び現場教育	70.0%	70.2%	○	若手職員の選別意識の向上と、職員高齢化や猛暑による能力の限界のバランスが課題。(前者は向上しているので課題の解消を目指す)
収集運搬車両の燃費向上					
産廃部門 収運(10t)車両	・各車両ごとに燃費を管理	3.36 Km／リットル	3.50 Km／リットル	○	一般部門に於いて売上減少に伴う、高速道路使用を制限した結果、及び車両入換の遅延により、燃費が下がる結果となった。各車両ごとの燃費を管理する装置(エコサム)を活用した活動と良い結果を出した職員への表彰を継続。
産廃部門 収運(2～4t)車両	・各運転手ごとの技能向上、及び養育	6.02 Km／リットル	6.39 Km／リットル	○	
一廃部門 収集・運搬車両		5.65 Km／リットル	5.19 Km／リットル	△	
その他、環境保全活動	・環境保全活動(事務所周辺の清掃、草刈り)	実施	実施	○	本社他、各営業所に於いて、適宜事務所周辺の清掃を継続中。
	・ワクチンの寄付、使用済み切手収集	実施	実施	○	収集は行っているが、エコキヤップの寄付先が見つからず排出できずにいたが、新たな寄付先を見つかった為、定期的な寄付を目指す。
	・グリーン購入	実施	実施	○	出来る範囲内のグリーン商品購入の継続。(メーカーによる商品のラインナップの増加を期待)

二酸化炭素 総排出量(kg-CO2)	電力・ガソリン・軽油・灯油・都市ガス・LPG	795,356.72 (kg-CO2)
-----------------------	------------------------	---------------------

※ 目標値に対して、差額10%未満の未達成については、△表記とする。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

○環境関連法規等の遵守状況（当社に適用される主な環境関連法規等）

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・家電リサイクル法
- ・自動車リサイクル法
- ・自動車Nox・PM法
- ・騒音規制法
- ・横浜市生活環境の保全等に関する条例
- ・振動規制法
- ・横浜市火災予防条例
- ・フロン排出抑制法
- ・道路交通法
- ・横浜市下水道条例

○当社は、環境関連法規等の遵守状況を確認・評価し結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・総評 : 全体として、環境目標は概ね達成した。
- 一部未達成の項目が見受けられたが、二酸化炭素の総排出については目標を達成することが出来た。
- ここ数年の急激な気候変動と本業の廃棄物処理を重ね合わせると、職員への酷暑対策、廃棄物処理に影響する防風暴雨対策は弊社に於いても大きな課題となっている。（例えば酷暑対策については1時間ごとの休憩の他、休憩室は常にエアコンを効かせた状態にするなどの対応を取っている）
- この様な状況の中、今後想定される使用電力の上昇については、次年度以降の状況を勘案し、二次的な対策ではあるが二酸化炭素の排出係数の少ない電力会社への切り替えを含め、購入する機器等について低電力型への見直しを検討することとした。
- 以上のことから、現在の取組実績を継続し、急激な環境の変化に対応しうる環境活動を目指したい。

- ・見直し対象期間 : 2024年 1月 1日～12月 31日
- ・見直し実施日 : 2025年1月 25日
- ・見直し結果 : ①環境経営方針は変更しない。
②環境経営目標及び計画は変更しない。
③実施体制は変更しない。